

【平成 29 年 5 月 1 9 日】

<p>発表事項</p>	<p>麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起について</p>																								
<p>概 要</p>	<p>平成 29 年 5 月 18 日、市内の医療機関から宮崎市保健所へ麻しんの発生届出がありました。市内での麻しんの発生は、平成 26 年 1 月以来です。 患者の状況等については、下記のとおりです。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 患者の概要 20 代日本人女性 宮崎市に帰省中 海外渡航歴 あり（タイ） 予防接種歴 あり（1 回） <経緯> 5 月 12 日 タイ滞在中、発熱等出現 5 月 15 日 タイの医療機関を受診、発疹、咽頭のびらん等出現 5 月 16 日 バンコクドムアン空港 23:45 発～5 月 17 日 8:00 成田空港着 5 月 17 日 羽田空港 12:00 発～宮崎空港 13:40 着 5 月 17 日 市内 2 医療機関を受診 5 月 18 日 医療機関から検査依頼あり 麻しんウイルス検査の結果、陽性 本人は自宅療養中</p> <p>2 市民の皆様へ ・症状から麻しんが疑われる場合、必ず事前に医療機関に連絡の上、受診してください。 ・また、受診の際は、周囲の方へ感染させないよう公共交通機関等の利用を避けてください。 ※麻しんの症状については、別添「麻しん感染防止のための予防対策」参照。</p> <p>3 医療機関の皆様へ ・発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻しんの予防接種歴の確認等、麻しんの発生を意識した診療をお願いします。 ・患者（疑い含む）は、個室管理を行う等、麻しんの感染力の強さを踏まえた院内感染対策を実施してください。 ・臨床症状等から麻しんと診断した場合には、速やかに保健所へ届出ください。</p> <p>【参考】 麻しんの発生状況（平成 29 年 5 月 14 日現在）</p> <table border="1" data-bbox="363 1738 1259 1912"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮崎市</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>宮崎県（宮崎市含む）</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>全国（宮崎県含む）</td> <td>229</td> <td>462</td> <td>35</td> <td>165</td> <td>151</td> </tr> </tbody> </table>	年	H25	H26	H27	H28	H29	宮崎市	0	1	0	0	0	宮崎県（宮崎市含む）	0	4	0	0	0	全国（宮崎県含む）	229	462	35	165	151
年	H25	H26	H27	H28	H29																				
宮崎市	0	1	0	0	0																				
宮崎県（宮崎市含む）	0	4	0	0	0																				
全国（宮崎県含む）	229	462	35	165	151																				
<p>担当部署</p>	<p>課・係名：宮崎市健康支援課 担当者：成松 電話：29-5286（直通）、内線(70)4244 ファクス：29-5208 e-mail：10zousin@city.miyazaki.miyazaki.jp</p>																								

『麻疹』感染防止のための予防対策

宮崎市保健所 健康支援課

1. 麻疹とは

- ◎ 麻疹ウイルスが原因で発生する感染症で「はしか」とも呼ばれます。
- ◎ 感染力が非常に強く、肺炎や中耳炎、脳炎等の合併症を起こすこともあります。

2. 感染経路

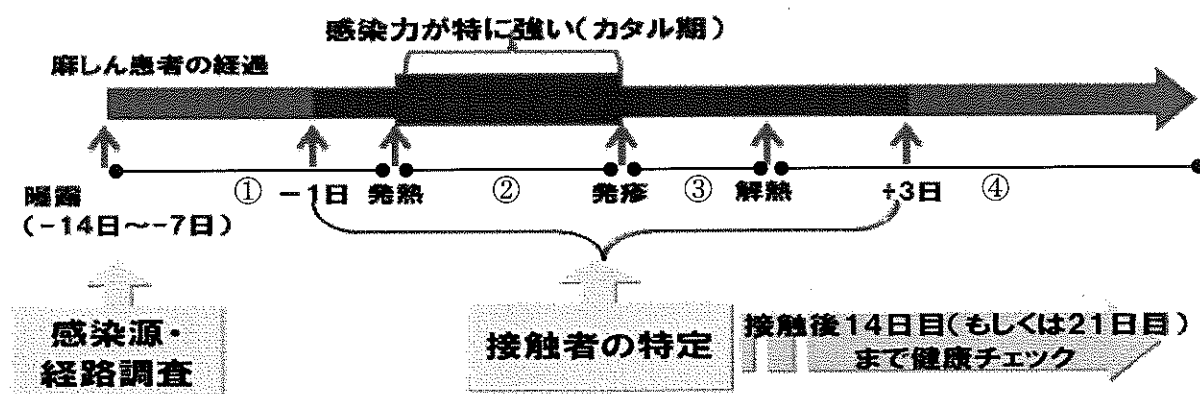
空気、飛沫、接触感染です。

3. 症状

- ①【潜伏期間：10～14日】特に自覚症状はありません。
- ②【カタル期：2～4日】38℃前後の発熱、咳、鼻水、くしゃみ、結膜充血、目やに倦怠感などの症状が現れ、発疹の現れる1～2日頃に頬粘膜に白い水疱（コプリック斑）が出現します。
- ③【発疹期：3～4日】体温が一度下がった後、再び高熱（多くは39℃以上）が出るとともに、特有の発疹が耳の後ろ首、顔から出始め、体幹、上肢、下肢に広がります。
- ④【回復期：7～9日】熱は下がり、発疹も消失します。ただし発疹は黒ずんで色素沈着となり、しばらく残ります。

★注意：合併症として肺炎や中耳炎、脳炎をおこすことがあります。

◎ 感染期間：症状が出る1日前から発疹出現後4～5日目くらいまでです。



4. 感染予防方法

- ◎ 唯一の感染予防方法はワクチン接種で、麻疹に対する免疫をあらかじめつけておくことです（ただし妊婦は接種できません）。
- ◎ 麻疹ワクチンは、麻疹風しん混合ワクチン（MR ワクチン）が現在一般的です。予防接種法に基づく定期予防接種の対象者は接種費用が無料です。

第1期：1歳児

第2期：小学校入学前の児童

- ◎ 定期予防接種の対象者以外は任意接種となり、自己負担が発生します。

<その他>

学校保健安全法では、第二種の感染症とされており解熱した後3日間は出席停止となっています。

※参考にした資料：国立感染症研究所「麻疹 Q&A」、東京都感染症マニュアル2009

麻疹発生時対応ガイドライン〔第二版：暫定改訂版〕

<文書取扱：宮崎市保健所 健康支援課 感染症係 29-5286>